

陸羯南とその時代

くが

かつなん



「此この種なづの新聞を名けて独立新聞と云いふ」

激動の明治に、硬骨のジャーナリストがいた

2015.12.19日 ▶ 2016.2.28日

併催 / 津軽の歴史～藩主たちの時代～

【開館時間】 9時30分～16時30分

【休館日】 第3月曜日(12月21日・1月18日・2月15日)

【観覧料】 一般280円(210円) 高校・大学生140円(100円) 小・中学生80円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。65歳以上の弘前市民、市内の小中学生、市内の障がい者、市内の留学生、ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料

【記念講演会】平成28年2月13日(土) 13時30分～15時30分 【会場】弘前市立博物館ホール 【聴講料】無料※ただし観覧料が必要です。

【講師】箱田 勝弘氏(陸羯南会会長)、松田 修一氏(「道理と真情の新聞人 陸羯南」著者、東奥日報社編集委員室室長)

弘前市立博物館

【住所】〒036-8356 青森県弘前市大字下白銀町1-6 弘前公園内 【TEL】 0172-35-0700 【FAX】 0172-35-0707

【URL】 <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/hakubutsukan/>

【アクセス】 JR弘前駅下車、駅前より路線バスで市役所前公園入口下車、徒歩5分、または土手町循環100円バスで市役所前下車、徒歩5分

【主催】陸羯南展実行委員会(弘前市、東奥日報社、陸羯南会、一般財団法人養生会、公益社団法人弘前観光コンベンション協会)・弘前市立博物館

【協力】日本新聞博物館

【後援】青森県教育委員会・弘前圏域定住自立圏協定市町村教育委員会(黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村各教育委員会)

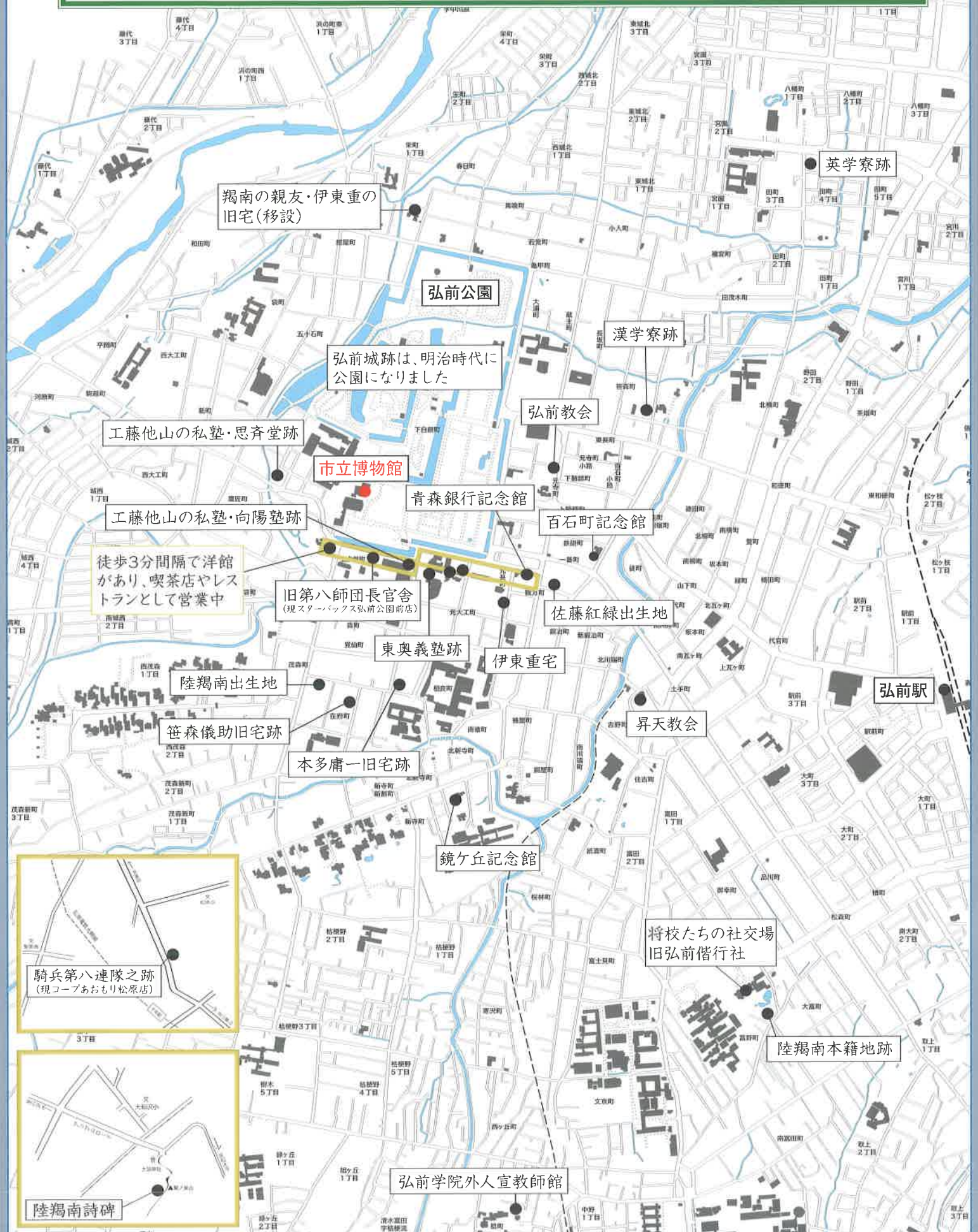


弘前市立博物館企画展「陸羯南とその時代」

弘前を歩いて明治を探そう



※建造物は文化財指定名称ではなく通称で記載したのものもあります。また、大正時代の洋風建築も一部記載しています。



羯南の親友・伊東重の
旧宅(移設)

弘前公園

弘前城跡は、明治時代に
公園になりました

漢学寮跡

弘前教会

工藤他山の私塾・思斉堂跡

市立博物館

青森銀行記念館

百石町記念館

工藤他山の私塾・向陽塾跡

徒歩3分間隔で洋館
があり、喫茶店やレス
トランとして営業中

旧第八師団長官舎
(現スターバックス弘前公園前店)

佐藤紅緑出生地

東奥義塾跡

伊東重宅

陸羯南出生地

昇天教会

弘前駅

笹森儀助旧宅跡

本多庸一旧宅跡

鏡ヶ丘記念館

将校たちの社交場
旧弘前偕行社

陸羯南本籍地跡

騎兵第八連隊之跡
(現コープあおもり松原店)

陸羯南詩碑

弘前学院外人宣教師館